

平成27年度第2回湯梨浜町地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時 平成28年3月7日(月) 13:30~14:30

場 所 湯梨浜町役場 第3会議室

出席者 徳田委員、塩委員、宮本委員、三原委員、長谷川委員、  
清水委員、濱口委員

事務局 竹本所長、山田補佐、西本、洞ヶ瀬、森、大田、戸崎

1 開 会

2 後任委員の紹介

3 協議事項

(1) 平成27年度事業経過について

(資料に基づき事務局から説明)

委 員 地域ケア会議で取り上げている困難事例とはどういう事例か。

事務局 家族の協力がなかったり、支援者がおらずスムーズに支援できない場合に、困難事例として取り上げ、ケア会議を行っている。

委 員 小規模多機能の事例が2件あるが。

事務局 小規模多機能を利用している個別のケースで、家族の状況や金銭的な状況について、方向性が定まらないケースを取り上げた。

委 員 地域ケア会議の内容、苦労話等、具体的に聞けたらいいと思った。この会も年に1、2回しかないので、皆で共通認識する必要もある。

事務局 次回は、ケア会議で出た課題について、具体的な政策について話し合う必要があるので、その際に詳しい事例を伝えるようにします。

委 員 食の自立支援事業は、配食の頻度はどのくらいですか。

事務局 365日対応している。利用者に合わせて回数を決定している。社協さんが弁当を作り配達している。食材料費は自己負担で1個450円、その他配達に係る経費は町が補助金を出している。年間120万円程度。

委 員 申し込めば誰でも利用できるのか。

事務局 利用前に調整会議にかけ、安否確認や栄養改善の必要性を検討している。場合によっては民間の配食サービスでも大丈夫な人もいるので、全員が利用できる訳ではない。

(2) 平成28年度事業方針(案)について

(3) 総合事業について

(資料に基づき事務局から説明)

委 員 相談支援強化事業は包括支援センターがやるのか。民生委員や愛の輪との兼ね合いはどうするのか。

事務局 相談支援強化事業は、元々以前に緊急通報を撤去した際に、それに代わる事業をということで、包括で定期的に見守り・訪問を行っている。

委員 では、包括が行うということになるのか。愛の輪さんにもう少し重点を置いてもいいのではないかと。たいへんだろうが、愛の輪を経由して行う等、工夫があった方がいいのではないかと。

事務局 愛の輪は社協さんが任意で行う事業のため、独居の人全員に付いているわけではない。そういった人に対しては、包括が把握し、声かけをしている。

委員 民生委員や愛の輪さんが主で見守り、包括はフォロー的な立ち位置の方がいいのではないかと。電話してそれでいいということになってしまっているのではないかと。

事務局 連絡頻度はそれほど多い訳ではない。台風・大雪・熱中症等の注意喚起を行っている。見守りの目は多い方がよいと思うので。

委員 認知症予防のスローガンで、水分補給の「1500ml」は根拠もないので、やめてほしい。取過ぎはよくない。夏場はそれ以上が必要、冬場はそんなに飲まなくてよい。誤った情報を流すのはやめて欲しい。

事務局 どのくらい取ればよいのか。

委員 尿量の基準による。適切な水分補給くらいの表現でよい。

(3) その他 なし

#### 4 閉会

副会長 先日、最高裁で判決が出ました認知症の方の事故について。この方の妻に関しては責任はないということだったが、その他の場合にはわからない。認知症の予防について、人との交流機会がある人に比べて、ない人は認知症の発症リスクが1.45倍高くなると言われている。

今日は皆様お疲れさまでした。